SONY®

4-662-645-**01**(1)

困ったときは Q&A
CLIE用語集

パーソナルエンターテインメントオーガナイザー

CLIÉ

- CLIE、VAIO、“Memory Stick”（“メモリースティック”）、MEMORY STICK™、“Magic Gate”（“マジックゲート”）、MAGICGATE、“Magic Gate Memory Stick”（“マジックゲートメモリースティック”）、MG、PictureGearはソニー株式会社の商標です。
- Palm OS、Graffiti、HotSyncは、Palm, Inc.またはその子会社の登録商標であり、Palm Desktop、HotSyncのロゴ、Palm Poweredのロゴは、Palm, Inc.またはその子会社の商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- MMXおよびPentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Xiino（ジーノ）、Ilinx（イリンクス）は株式会社イリンクスの登録商標です。
- generic mediaおよびgMovieは、generic media,incの商標です。
- ATOK「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- 本機で使用している一部のフォントの著作権は、株式会社タイプバンクに帰属します。
- Adobe® およびAcrobat®はAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。
- Documents To Goは、米国およびその他の国におけるDataViz, Inc.の商標、もしくは登録商標です。
- Intellisyncは米国Pumatec, Inc.の米国、およびその他の国における商標もしくは登録商標です。
- PrimoSDK for CD
  Partial software replication technology by VERITAS Software Corporation.
- QuickTime and the QuickTime logo are trademarks used under license.
  QuickTime is registered in the U.S. and other countries.
- The software library incorporated in CLIE handheld is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標または商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

サンプル映像＆音楽　cocoro~.prc
（DVD Hawaiian Breeze - KOHALA Collection（CCBN-27013）より）
Music: Mango Cooler（Composed by Charles Michael Brotman. Performed by KOHALA）

http://www.cocoronet.com/

目次

* この冊子では、Palm OS搭載機器の一般的な用語を説明しています。付属アプリケーション特有の用語などについては、パソコン上で見る「CLIEアプリケーションマニュアル」の索引をご覧ください。

トラブルが起こる前に

バックアップのおすすめ

予期しないトラブルが起きたときのために、こまめにデータの複製を取っておくこと（バックアップ）をおすすめします。万一CLIEを初期状態に戻す必要のあるトラブルが起きたときでも、常にバックアップをしておくことで、CLIEを最新の状態に復帰させることができます。

Memory Stick Backupアプリケーションによるバックアップ

付属のMemory Stick Backupアプリケーションを使って“ メモリースティック ”へバックアップすることができます。CLIE と“ メモリースティック ”だけで簡単にバックアップできる便利な方法です。詳しくは取扱説明書「Chapter 8 その他の情報：CLIEの情報をバックアップする」をご覧ください。

HotSyncによるバックアップ

HotSyncを行う度に、CLIE本体のデータはパソコンにバックアップされます。ハードリセットなどによってCLIE本体内のデータが失われても、HotSyncをすることで前回HotSyncを行った時点の状態に復帰します。
ただし、追加インストールしたアプリケーションの一部のデータや、赤外線通信または“ メモリースティック ”から転送したアプリケーション／データはHotSyncではバックアップされません。完全なバックアップを取りたいときは、上記のMemory Stick Backupアプリケーションをご使用ください。
HotSyncについて詳しくは、取扱説明書「Chapter 4 パソコンとデータを同期する（HotSync）」をご覧ください。

トラブルを解決するには

本機を操作していて困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに下記の流れに従ってください。
また、メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

手順1　本書や各アプリケーションのマニュアルで調べる

- 本書の「主なトラブルとその解決方法」（7ページ～）をチェックする。
- 別冊の取扱説明書やパソコンのデスクトップ上にある［CLIEアプリケーションマニュアル］アイコンをクリックしてアプリケーションの情報を見る。

手順2　ホームページの「カスタマーサポート」で調べる

ネットコミュニケーション カスタマーリンクのホームページ（http://www.nccl.sony.co.jp/）では、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ情報、サービスを掲載しています。パソコンのデスクトップ上の［CLIE困ったときは］アイコンをクリックしてください。

手順3　それでもトラブルが解決しないときは

次ページをご覧の上、ネットコミュニケーション カスタマーリンク（CLIE専用サポートセンター）またはお買い上げ店にご相談ください。

ご注意

Palm OS用に開発されたアプリケーションは、何千種類もあります。弊社ではそれら他社製のアプリケーションについて動作保証をしていないため、サポートは行っておりません。
他社製のアプリケーションで問題が生じた場合は、そのアプリケーションの開発元または発売元にお問い合わせください。

お問い合わせ先

ネットコミュニケーション カスタマーリンク

電話番号　(0466) 30-3080

受付時間

平日　10時〜18時（年末年始は除く）

土、日、祝日は受け付けていません

一般的にお電話は午前中より午後の方がつながりやすくなっております。

お電話の前に以下の内容をご用意ください

① お客様のカスタマーID

② 本機の型名：本機背面または、保証書に記載されています

③ カスタマー登録していていただいたときの電話番号、または登録予定の電話番号

発信者番号通知でお電話していただくとよりスムーズに担当者につながります。

④ 本機に接続している周辺機器名：メーカー名と型名

⑤ 表示されたエラーメッセージ

⑥ トラブルが発生する前または直前に行った操作

⑦ トラブルがどのくらいの頻度で再現するか

⑧ その他お気づきの点

修理の場合は

⑨ 筆記用具：修理を受付する際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です

主なトラブルとその解決方法

動作がおかしい

電源が入らない

➡ HOLDスイッチがHOLD状態になっている*
HOLD状態では操作を受け付けなくなります。HOLDを解除してください。
＊HOLDスイッチがない機種は除く

➡ バッテリが消耗している
CLIEをACアダプターに接続したクレードルにつないで、数分後に電源を入れてみてください。電源が入ったらそのまま4時間以上充電してください。

➡ CLIEとクレードルのコネクタが汚れている
コネクタが汚れていると充電されないことがあります。2、3回CLIEをクレードルに装着し直してみてください。コネクタの汚れが清掃されます。

➡ （PEG-NR70V/J、PEG-NR70/Jをご使用の場合）
閉じた状態（クローズスタイル）では電源を入れることはできません。

電源ランプは点灯しているが画面が表示されない

➡ リセットボタンを押してソフトリセットを行ってください。詳しくは、取扱説明書「Chapter 8 その他の情報：本機をリセットする」をご覧ください。

操作に反応しなくなった

➡ CLIEをパソコンの赤外線通信ポートの近くに置いている
誤動作の原因となる場合がありますので、赤外線HotSyncをする場合以外はパソコンの赤外線通信ポートの近くに置かないでください。

➡ リセットボタンを押してソフトリセットを行ってください。詳しくは、取扱説明書「Chapter 8 その他の情報：本機をリセットする」をご覧ください。

次のページにつづく

電源が自動的に切れてしまう

➡ 本機は一定時間何も操作しないと、自動的に電源が切れるように設計されています（自動電源オフ）。自動電源オフまでの時間は、「環境設定」画面の「一般」－「電源オフまでの時間」で好みに合わせて選ぶことができます。詳しくは取扱説明書「Chapter 7 設定を変更する（環境設定）：自動電源オフまでの時間を設定する」をご覧ください。

➡「データ保護」に設定している

「データ保護」に設定していると、上記の手順で自動電源オフの時間を設定していても早く電源が切れることがあります。「データ保護」の設定について詳しくは、取扱説明書「Chapter 3 個人情報を管理する（その他）：データを保護する」をご覧ください。

音が出ない

➡「環境設定」画面の「一般」－「システム音」の設定が「オフ」になっている。

詳しくは取扱説明書「Chapter 7 設定を変更する（環境設定）：各種の操作音の設定を変更する」をご覧ください。

明るさ調節／コントラスト調節をするときバックライトがつかない

➡ 明るさ調節／コントラスト調節をするときは、液晶画面のバックライトが点灯します。このときバックライトが一番暗く設定してあると、バックライトは点灯しませんが故障ではありません。

液晶画面が見づらい

➡ 見る角度によって、明るさのムラが出る場合がありますが、故障ではありません。画面左下の「明るさ／コントラスト調節アイコン」をタップして明るさを調整してみてください。また、バックライトが消灯している場合は、電源ボタンを２秒以上押して点灯させてみてください。

ジョグダイヤルが使えない

➡ ジョグアシスト機能を使用する設定になっていない

ジョグダイヤルに対応していないアプリケーションは、ジョグアシスト機能を使用してはじめてジョグダイヤルで操作できます。「環境設定」画面の「ジョグ」で、「ジョグアシストを使用する」にチェックをつけてください。詳しくは、取扱説明書「Chapter 8 設定を変更する（環境設定）：ジョグダイヤルの設定を変える」をご覧ください。

➡ 一部のアプリケーションではジョグアシスト機能を使用できないことがあります。

HotSyncできない

はじめに、以下の項目を確認してください

CLIE側の確認

➡ CLIEとクレードルのコネクタが汚れていないか

汚れていた場合、2、3回CLIEをクレードルに装着し直してみてください。コネクタの汚れが清掃されます。

➡ CLIEとクレードルが正しく接続されているか

CLIEの画面上のバッテリアイコンが [バッテリアイコン] になっていることを確認してください。 [バッテリアイコン] のときはCLIEをクレードルに接続し直してください。

➡ 本体のメモリに空き容量が充分あるか

不要なデータを消去してもう一度HotSync を行ってください。

パソコン側の確認

➡ パソコンのOSが対応しているか

下記のOSに対応しています。それ以外のOSでは動作しません。

- Microsoft Windows 98 Second Edition
- Microsoft Windows 2000 Professional
- Microsoft Windows Me
- Microsoft Windows XP*

* この冊子では、Windows XP Home EditionとWindows XP Professionalの両者をまとめてWindows XPと記載しています。

➡ クレードルのUSBケーブルがパソコンに接続されているか

➡ パソコンの画面右下のタスクトレイに [アイコン] が表示されているか

表示されていない場合は、［スタート］メニューから［プログラム］（Windows XPでは［すべてのプログラム］）－［ Sony CLIE］－［HotSync マネージャ ］をクリックして、HotSyncマネージャを起動します。

➡ [アイコン] をクリックして表示されたメニューの、「ローカルUSB」にチェックがついているか

チェックがついていなければ、クリックしてチェックをつけます。

➡ USBポートが有効になっているか

USBマウスなど他のUSB機器を差して、USBポートが正常に動作するか確認してください。

次のページにつづく

➡ ポートリプリケーターなどのノートパソコン用端子拡張製品をご使用の場合、ポートリプリケーターかパソコン本体のUSBポートのどちらかが使えない場合があります。

以上の確認をしてもHotSyncができない場合は、CLIE背面のリセットボタンを押してソフトリセットしてください。詳しくは、取扱説明書「Chapter 8 その他の情報：本機をリセットする」をご覧ください。
また、HotSyncについての個別のトラブルは下記をご覧ください。

HotSyncを途中で終了できない

➡ USB接続でのHotSync開始後の数十秒間は、［キャンセル］をタップしても途中で終了できないことがあります。しばらく待ってから、再度お試しください。

➡ ［キャンセル］をタップしても終了できない場合は、CLIEをソフトリセットしてください。詳しくは、取扱説明書「Chapter 8 その他の情報：本機をリセットする」をご覧ください。

HotSyncでデータが同期されないアプリケーションがある

➡ CLIE Palm DesktopソフトウェアとCLIEのユーザー名が違う
ご使用のCLIEと同じユーザー名をCLIE Palm Desktop側で選んでください。

➡ 同期しない設定になっている
パソコンの画面右下のタスクトレイにあるHotSyncマネージャアイコンをクリックして、［動作設定］を選びます。同期させたいアプリケーションを「ファイルの同期」に設定してください。

➡ バックアップや同期を行うサードパーティー製ソフトウェアをパソコン、またはCLIEにインストールしている
CLIE Palm Desktopソフトウェア側ですべてのアプリケーションの同期ができないことがあります。

➡ CLIE本体のメモリに充分な空き容量がない
不要なデータを消去してもう一度HotSync を行ってください。

➡ 「データ保護」でプライベートデータを非表示にしている
非表示にしたデータはCLIE Palm Desktopソフトウェア上でも表示されません。表示したい場合は「データ保護」の「現在の設定」で「データを表示」を選び、パスワードを入力します。

HotSyncしてもパソコンにバックアップされないデータがある

➡ 赤外線通信や“ メモリースティック ”からCLIEにコピーまたは移動されたデータには、HotSyncでパソコンにバックアップされないものがあります。Memory Stick Backupアプリケーションを使って“ メモリースティック ”にバックアップしてください。詳しくは取扱説明書「Chapter 8 その他の情報：CLIEの情報をバックアップする」をご覧ください。

CLIE Palm Desktopソフトウェアが起動しない、メニューから選択できない

➡ インストールが正しくされていない
ご利用のパソコンのハードウェアまたはソフトウェアとの相性の問題も考えられます。CLIE Palm Desktopソフトウェアをアンインストールして、もう一度インストールしてください。

HotSyncマネージャが起動しない（パソコンの画面右下に が表示されない）

➡ CLIE Palm Desktopソフトウェアを再インストールしてください。

HotSyncするとパソコンのメールソフトが起動してしまう

➡ 通常使用していないメールソフトやインストールしていないメールソフトを「メールセットアップ」で選択している
パソコンの画面右下の をクリックして、［動作設定］を選びます。コンジットの中から［メール］を選び、［変更］をクリックして「メールセットアップ」を起動して、通常使用しているメールソフトを指定してください。

➡ メールソフトの設定が完了していない
お使いのパソコンでメールが使えるように設定をしてください。

モデムHotSyncできない

<u>CLIE側</u>で以下の項目を確認してください

➡ 電話回線にキャッチホン機能を利用している場合は、環境設定の［ネットワーク］－［電話番号］をタップして、「ダイヤルの設定」画面で［キャッチホン機能解除］の☐をタップして☑にして、正しい番号を入力します。

➡ 外線発信番号をダイヤルする必要がある場合には、CLIEで［外線発信番号］の☐をタップして☑にして、正しい番号を入力します。

➡ 電話回線から雑音（ノイズ）が聞こえないかどうか確認します。雑音が原因で通信が中断されてしまう場合があります。

➡ モバイルコミュニケーションアダプター以外のモデムを使用している場合は、モデムの電池残量を確認します。

次のページにつづく

パソコン側で以下の項目を確認してください

➡ パソコンの電源が入っていて、省電力モードによって自動的に電源を切る設定になっていないかを確認します。

➡ モデムの電源が入っていて、送受信用の電話回線と正しく接続されているかどうかを確認します。

➡ HotSyncマネージャのメニューで、［モデム］が選ばれていることを確認します。

➡ CLIEとの通信に使用するモデムで、入／切を切り替えられることを確認します。自動オフの機能があるモデムをCLIEから起動することはできません。

➡ モデムがパソコンのシリアルポートに正しく接続されていて、送受信用の電話回線と接続されていることを確認します。

➡ ［起動／接続設定］画面の「初期化コマンド」が、正しいものであるかどうかを確認します。詳しくはモデムの取扱説明書をご覧ください。

➡ ［起動／接続設定］画面での「速度」の設定が［最速］または特定の速度で問題が生じる場合には、速度の設定を低くしてください。

➡ ［起動／接続設定］画面での「速度」の設定が、モデムにあった正しいものであることを確認します。

➡ 接続を再試行する前にモデムの電源をいったん切って、しばらくして電源を入れ直してみてください。

➡ 電話線がしっかりとモデムに差し込まれているかどうかを確認します。

➡ ダイヤル先の電話番号が正しく入力されていることを確認します。

赤外線HotSyncできない

➡ パソコンの画面右下のタスクトレイに が表示されていてHotSyncマネージャが動作中であることを確認します。 をクリックしてメニューが表示されたら動作中です。

➡ Windows 2000 Professional/Windows XPをご使用の場合は、 をクリックして［赤外線］にチェックをついていることを確認します。
Windows 98 Second Edition/Windows Meをご使用の場合は、 をクリックして［ローカル シリアル］にチェックがついていることを確認します。

- ➡ Windows 98 Second Edition/Windows Meをご使用の場合は、「起動／接続設定」画面の［ローカル］タブをクリックし、［シリアルポート］で赤外線通信用のシミュレーションポートが設定されているかどうかを確認します。
- ➡ CLIEのHotSync設定が［ローカル］に設定されていて、［赤外線とパソコン］が選択されていることを確認します。
- ➡ CLIEの赤外線通信ポートが、パソコンの赤外線通信ポートの真正面、約10〜20cmで距離を変えて試してみてください。Palm OS搭載機器やパソコンなどとの赤外線通信では、機器間の相性によって最適な通信距離が異なる場合があります。距離を変えてお試しください。
- ➡ バッテリの電力が低下していると、赤外線HotSyncは実行できません。
バッテリを充電してから、もう一度赤外線HotSyncを行ってください。
- ➡ 通信速度を下げてください。
電話回線にキャッチホン機能を利用している場合は、環境設定の［接続］－［赤外線］をタップして、［編集］をタップしてください。［詳細］をタップして表示される「詳細」画面の［速度］で指定します。
- ➡ お使いのパソコンの赤外線通信ポートが、使用可能な状態になっているか、確認してください。

エラーメッセージが表示される

同じエラーメッセージが重なって繰り返し表示される

➡ エラーメッセージの指示に従って操作してください。

アプリケーションを起動すると「不正な処理」が表示される

➡ CLIEのメモリの空き容量が不足していると、アプリケーションによっては正しく動作しない場合があります。不要なデータを削除してください。

メモリ不足の警告メッセージが表示される

CLIEのメモリの空き容量が足りないと、アプリケーションによっては正しく動作しない場合があります。不要なデータを削除してください。

➡ 予定表とTo Doの古いデータを削除します。
予定表の場合は［予定表］メニューから［古い予定の破棄］を選び、To Doの場合は［To Do］メニューから［完了した項目の破棄］を選びます。

➡ 不要なメモやデータを削除します。
詳しくは各アプリケーションの説明をご覧ください。

➡ 本体にアプリケーションを追加インストールしている場合は、それらのアプリケーションを削除します。詳しくは取扱説明書「Chapter 6 アプリケーションを追加して機能を拡張する：インストールしたアドオンアプリケーションを削除する」をご覧ください。

HotSyncが始まらず、画面にメッセージが表示される

➡ 赤外線HotSyncをするとき以外は、CLIEをパソコンの赤外線通信ポートのそばに置かないでください。誤動作の原因となる場合があります。

➡ 赤外線通信可能なパソコンで、パソコンの赤外線通信ポートが自動的に他の赤外線通信ポートを検出するように設定されている場合は、以下の手順で自動検出を「切」にします。

1 Windowsの［スタート］メニューをクリックし、［設定］－［コントロールパネル］をクリックする（Windows XPの場合は［スタート］－［コントロールパネル］）。
2 ［赤外線モニター］アイコン（Windows 2000 Professional/Windows XPの場合は［ワイヤレスリンク］アイコン）をダブルクリックする。
3 ［イメージの転送］タブをクリックする。

4 ［ワイヤレスリンクを使ってイメージをデジタルカメラからコンピュータに転送する］チェックボックスをクリックしてチェックをはずし、［OK］をクリックする。

5 パソコンの画面右下にあるアイコンをクリックして、表示されたメニューの中の［赤外線］をクリックしてチェックをつける。

赤外線通信のデータを受信しようとすると、メモリ不足のエラーメッセージが表示される

➡ 赤外線通信でデータを受信するには、受信データの約2倍の空きメモリがCLIEに必要になります。
空き容量が不足しているときは、不要なデータを削除してください。

➡ リセットボタンを押してソフトリセットを行ってください。詳しくは、取扱説明書「Chapter 8 その他の情報：本機をリセットする」をご覧ください。

入力がうまくできない

ボタンやアイコンをタップしても、タップ先と異なる機能が有効になる

➡ デジタイザの調整が正しくない
「環境設定」－「デジタイザ」でデジタイザの設定を行ってください。詳しくは取扱説明書「Chapter 7 設定を変更する：入力位置を調整する（デジタイザ）」をご覧ください。

➡ 画面に液晶保護シートを貼っていると正確に認識されないことがあります。

アイコンをタップしてもメニューが表示されない

➡ アプリケーションや画面によっては、メニューがないものもあります。別のアプリケーションに切り替えてみてください。

手書き文字が認識されない

➡ CLIEで手書き文字を認識させるには、Graffiti文字を使用する必要があります。詳しくは取扱説明書「Chapter 2 文字を入力する：手書き入力で文字を入力する（Graffiti）」をご覧ください。

➡ Graffiti文字は、表示画面ではなくGraffiti入力エリアに書きます。

➡ 文字はGraffiti入力エリアの左側、数字はGraffiti入力エリアの右側に書きます。

次のページにつづく

➡ Graffiti文字が特殊文字モードまたは記号モードになっていないかどうか確認します。詳しくは取扱説明書「Chapter 2 文字を入力する：手書き入力で文字を入力する（Graffiti）」をご覧ください。

➡ より早く正確にGraffiti文字を入力するためのヒントについては、取扱説明書「Chapter 2 文字を入力する：手書き入力で文字を入力する（Graffiti）」をご覧ください。

基本アプリケーション（PIM）の使いかたがわからない

［今日］をタップしても、今日の日付が表示されない

➡ CLIEの日付が正しく設定されていない
「環境設定」－「一般」の画面で、今日の日付が正しく表示されているかどうか確認してください。詳しくは取扱説明書「Chapter 7 設定を変更する（環境設定）：日付／時刻を合わせる」をご覧ください。

入力したデータがアプリケーションで表示されない

➡ 画面の右上にあるカテゴリー表示が、［すべて］になっているかどうかを確認してください。

➡「データ保護」で［データを表示］の設定にしているかどうかを確認してください。

➡ To Doで［表示］をタップして、［完了した項目を表示］が☑になっているかどうか確認してください。

メモを並び替えられない

➡ 一覧画面でメモを手動で並び替えられない場合は、「メモ帳の設定」画面で［並び替え］が［手動］に設定されているかどうかを確認してください。

➡ CLIE Palm Desktopソフトウェアの表示順序の設定は同期されません。
CLIE Palm Desktopソフトウェアでメモを五十音順に並び替えてからHotSyncを実行しても、CLIEのメモ帳のメモは「メモ帳の設定」画面の設定に従って表示されます。

予定表で作成した予定が週表示の画面に表示されない

➡ 週表示では、同じ開始時刻を持つ予定が複数あると、それらの予定を選択できません。開始時刻の同じ予定が複数ある場合には、日表示で重なった予定を確認してください。

アドレスの編集で姓、名を入力しても自動的に「よみ」入力欄に読みが追加されない

➡ スクリーンキーボードを使って文字を入力した場合は、読みが追加されない場合があります。直接「よみ」フィールドに入力してください。

アドレスに貼り付けた画像がなくなっていた

➡ CLIE Palm Desktop上で、画像を貼り付けたアドレス情報のカテゴリーを変更したためです。カテゴリーを変更するときはCLIE上で行ってください。

赤外線通信ができない

➡ 機器同士の赤外線通信ポートが向き合っていない
CLIEと通信するPalm OS搭載機器の赤外線通信ポートが正面を向くように置いてください。

➡ 機器間の距離が合っていない
本機ともう1台のPalm OS搭載機器との距離を10cm〜20cmの範囲内にして、2台の間に障害物がないことを確認します。Palm OS搭載機器やパソコンなどとの赤外線通信では、機器間の相性によって最適な通信距離が異なる場合があります。距離を変えてお試しください。

赤外線通信のデータを受信しようとすると、メモリ不足のエラーメッセージが表示される

➡ 赤外線通信でデータを受信するには、受信データの約2倍の空きメモリがCLIEに必要になります。
空き容量が不足しているときは、不要なデータを削除してください。

➡ リセットボタンを押してソフトリセットを行ってください。詳しくは、取扱説明書「Chapter 8 その他の情報：本機をリセットする」をご覧ください。

パスワードを忘れた

CLIEがロックされている場合は

➡ 本体をハードリセットする必要があります。ハードリセットすると、CLIEは初期状態に戻り、データやインストールしたアプリケーションは消去されます。詳しくは、取扱説明書「Chapter 8 その他の情報：本機をリセットする」をご覧ください。

CLIEがロックされていない場合は

➡ データ保護機能を利用して、パスワードを削除します。
この場合、CLIEでプライベートデータに指定しているすべてのデータは削除されます。ただし、パスワードを削除する前にHotSyncすることで、プライベートデータを含むすべてのデータのバックアップを取ることができます。
パスワードを削除してから、パソコンに保存されているプライベートデータを復元するには、HotSyncを行ってCLIEのデータをすべてパソコンに保存してから、以下の手順で操作します。

1「データ保護」画面で［忘れた場合］をタップする。
パスワードとすべてのプライベートデータが削除されます。

2 HotSyncを行い、プライベートデータを復元する。

“ メモリースティック ”が使えない

“ メモリースティック ”のデータをCLIEにコピー／移動できない

➡ CLIEのメモリの空き容量が足りない
“ メモリースティック ”のデータをCLIEにコピー／移動するには、コピー／移動したいデータと同じくらいの空きメモリがCLIEに必要になります。
不要なデータを削除してください。

“ メモリースティック ”を入れても「メモリースティックを入れてください」というメッセージが表示される

➡ “ メモリースティック ”が正しく認識されていない
“ メモリースティック ”をもう一度抜き差ししてください。

“ メモリースティック ”内のアプリケーションが起動できない

➡ CLIEのメモリの空き容量が足りない
ホーム画面から、“ メモリースティック ”内のアプリケーションを起動する場合は、本体にアプリケーションの容量と同じくらいの空きが必要です。本体の不要なデータを削除してください。

“ メモリースティック ”内のデータが表示できない

➡ CLIE Palm Desktopソフトウェアのインストールツールを使って“ メモリースティック ”にインストールしたデータは、「￥PALM￥Launcher」フォルダに格納されます。CLIEのアプリケーションがこのフォルダを参照できない場合、インストールが成功してもデータを表示することができません。Memory Stick Gateアプリケーションを使って“ メモリースティック ”内のデータをCLIEにコピーしてください。

以下のアプリケーションは「￥PALM￥Launcher」フォルダを参照できません。

- PictureGear Pocket
- gMovie
- 辞書

など

（他社製のアプリケーションについてはそれぞれの製造元にお問い合わせください）

パソコンから“ メモリースティック ”へのデータのインストールは、Memory Stick Import/Memory Stick Exportアプリケーションをお使いください。

“ メモリースティック ”が認識されない／エラーが頻発する

➡ “ メモリースティック ”の端子部に汚れが付着していると、データの読み書きができない場合があります。“ メモリースティック ”の端子部を綿棒などで清掃してください。

➡ CLIE以外の機器で初期化（フォーマット）した“ メモリースティック ”は使用できない場合があります。本機で初期化（フォーマット）してください。

バックアップできない

HotSyncしてもパソコンにバックアップされないデータがある

➡ 赤外線通信や“ メモリースティック ”からCLIEにコピーまたは移動されたデータには、HotSyncでパソコンにバックアップされないものがあります。Memory Stick Backupアプリケーションを使って“ メモリースティック ”にバックアップしてください。詳しくは取扱説明書「Chapter 8 その他の情報：CLIEの情報をバックアップする」をご覧ください。

他のPalm OS搭載機器からエクスポートしたデータをCLIEに移行できない

➡ ネットコミュニケーション カスタマーリンクホームページの「よくあるお問い合わせ」でご案内しています。
http://www.nccl.sony.co.jp/

データをエクスポート（転送）できない

静止画、動画をパソコンからCLIEにエクスポートできない

➡ HotSync機能を使用する方法と、“ メモリースティック ”を使用する方法があります。ネットコミュニケーション カスタマーリンクホームページの「よくあるお問い合わせ」でご案内しています。
http://www.nccl.sony.co.jp/

周辺機器が使えない

CLIE PDA コミュニケーションカードアダプターについて

➡ ネットコミュニケーション カスタマーリンクホームページの「機種ごとのサポートページ」から、ご使用機種の型名を選択してご覧ください。
http://www.nccl.sony.co.jp/

音楽再生ができない（Audio Player）*

* Audio Playerが付属しない機種は除く

再生について

再生音が出ない

➡ 音量を上げてください。

再生音が大きくならない

➡［AVLS］をタップして、通常の表示に戻してください。

再生音が一瞬とぎれる

➡［REVERSE］または［SHUFFLE］をタップすると一瞬再生音がとぎれますが、故障ではありません。

再生音がとぎれたり雑音が混ざる

➡ 音楽再生中にCLIEの他のアプリケーションを使用したりデータの処理を行ったりすると、再生音に雑音が混ざることがあります。

音が歪んで聞こえる

➡ 録音時のビットレートが低い。仕様範囲内で、より高いビットレートを選んで録音してください。詳しくはCLIEアプリケーションマニュアルの「Audio Player」をご覧ください。

片方からしか音が出ない

➡ ヘッドホンプラグを奥まで差し込んでください。

Audio Playerを起動しても、“ MG メモリースティック ”内の曲数が表示されない

➡“ メモリースティック ”に記録されている曲数によっては、読み込みに時間がかかることがあります。読み込み中はAudio Playerの操作を受け付けなくなりますが、故障ではありません。

次の曲の頭出しができない

➡ リピート再生をしていないときに順不同に再生（シャッフル再生）している場合、最後の曲を再生中は曲の頭出しができません。この場合はいったん全曲リピート再生（REP ALL）にしてから、次の曲を頭出ししてください。

次のページにつづく

再生していたら急に音が止まった

➡ バッテリを充電してください。

➡ “ メモリースティック ”の端子部が汚れている。“ メモリースティック ”を数回抜き差ししてください。

再生制限つきの音楽データを再生できない

➡ 有効期限外の場合は再生できません。

リモコンを押しても反応しない

➡ リモコンのHOLDスイッチを「OFF」にしてください。

パソコンとの接続について

CLIE をクレードルに取りつけても、SonicStage LEが認識しない

➡ 曲転送モードにしてください。詳しくはCLIEアプリケーションマニュアルの「Audio Player：音楽をパソコンからCLIEに送る」をご覧ください。

➡ OpenMG の認証を行うために、時間がかかる場合があります。しばらくお待ちください。

➡ パソコン上で他のアプリケーションが起動している
しばらくしてから、もう1 度クレードルに取りつけ直してください。それでも解決しない場合は、パソコンを再起動してください。

➡ クレードルとパソコンが正しく接続されているか確認してください。

接続中に突然接続が切れてしまう

➡ クレードルにAC パワーアダプターを接続してください。

➡ クレードルとパソコンが正しく接続されているか確認してください。

➡ CLIEをクレードルにしっかり取り付けてください。

チェックアウト（曲転送）できる曲数が少ない（録音できる時間が短い）

➡ “ メモリースティック ”に音楽以外のデータが入っている
音楽以外のデータが入っている分、チェックアウト（曲転送）できる曲数は減ります。音楽以外のデータをパソコンにコピーするなどして、使用できるデータの容量を増やしてください。

パソコン接続後、ドライブは表示されるが、中身が見えない

➡ “ メモリースティック ”を入れてから、再接続してください。

接続中の動作が不安定

➡ USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使用してクレードルをパソコンに接続している場合は、動作の保証はできません。クレードルは直接パソコンのUSBポートに接続してください。

パソコンの画面に突然「デバイスの取り外し」の警告画面が表示される

➡ チェックイン／チェックアウト（曲転送）中に［終了］をタップしたり、クレードルからCLIEを取りはずさないでください。

その他

CLIE本体の操作音がしない

➡ ヘッドホンをCLIEにつないでいると、CLIE本体のシステム音やアラーム音、ゲーム音はヘッドホンからのみ聞こえます。

“ メモリースティック ”が挿入できない

➡ 挿入する向きが誤っている
正しい向きで挿入してください。

他の機器で使っていた“ メモリースティック ”が使えない

➡ パソコンなどでフォーマット（初期化）してある“ MG メモリースティック ”は、必要なデータをパソコンなどにコピーしたうえで、CLIE本体取扱説明書の説明に従ってCLIEでフォーマットし直してください。

“ メモリースティック ”を挿入したあと、しばらく操作できない

➡ 多くの曲を録音している“ メモリースティック ”を挿入すると、しばらく操作できないことがありますが、故障ではありません。Audio Player画面に曲名が表示されるか、メモリースティックランプが消えるまでしばらくお待ちください。

インターネットが使えない（Xiino）*

* Xiinoが付属しない機種は除く

インターネットに接続できない

➡ しばらくたってから接続し直してください。

➡ CLIEのバッテリ残量が少ない
モバイルコミュニケーションアダプターは、CLIE本体の電源を使用しています。そのため、CLIEのバッテリ残量が不足すると、インターネットに接続できなくなります。ホーム画面に戻って、バッテリ残量を確認してください。

➡ 通信アダプターのバッテリ残量が少ない
通信アダプターのバッテリ残量が不足すると、インターネットに接続できなくなります。通信アダプターのバッテリ残量を確認してください。

「モデムが見つかりません」と表示される

➡ CLIEとモバイルコミュニケーションアダプター、携帯電話／PHSとの接続を確認してください。

➡ CLIEと通信アダプター、通信カードとの接続を確認してください。

➡ 通信アダプターの電源が入っていることを確認してください。

「設定が間違っています」「認証が失敗しました」などと表示される

➡ 下記の項目が正しく設定されているか、CLIEアプリケーションマニュアルの「インターネットに接続する」の手順に従って、もう一度項目を確認してください。
- 「環境設定」－「ネットワーク」の設定内容が合っているか
- 入力した文字が全角と半角で間違っていないか
- Xiinoでプロキシサーバーのアドレスを正しく設定しているか

ホームページが表示されない

画像が表示されない

➡ Xiinoアプリケーションが起動している状態でメニューアイコンをタップして、［オプション］メニューから［設定］を選び、画像表示に関する設定項目を確認してください。
- 画像をロード：［ユーザー設定］になっている場合は、［常にロード］に設定します。
- サーバ：URLをpds.ilinx.co.jpと英数字入力モードで入力します。

ホームページの一部または全部が表示されない

➡ 指定したホームページがMacromedia Flashなど、Xiinoで対応していない要素を使用している場合は、Xiinoでは表示できません。また、JavaScriptやJavaアプレットを利用したホームページも、未対応のコマンドを利用している場合は表示できません。

ホームページの読み込みに時間がかかる

➡ Webサイトまたは画像表示用のプロキシサーバーが混雑している場合は、別のプロバイダまたはアクセスポイントから接続すると、読み込み速度が改善されることがあります。また、時間帯によって混雑している場合がありますので、時間帯を変えてもう1度アクセスしてください。

ホームページが読み込めない

➡ URLを直接入力した場合は英数字入力モードで入力したかどうか、また"-"（ハイフン）と"_"（アンダーバー）、"0"（ゼロ）と"O"（オー）など入力間違いがないかどうか確認してください。

➡ アドレスのURLに含まれる「~」（チルダ）を入力するには、英数字キーボードを表示させてから、（Shiftキー）をタップして、［~］をタップします。なお、CLIEで表示される「~」（チルダ）はパソコン上で表示される「~」と見た目が異なります。アドレスなどを入力するときにご注意ください。（ATOKの使用中のみ）

➡ ブックマークからアクセスした場合は、ブックマーク登録したページが別のアドレスに移転してしまっている可能性があります。URLを短くして、リンクをたどってみましょう（例：http://www.so-net.ne.jp/xxxx/がアクセスできなかった場合は、http://www.so-net.ne.jp/にアクセスしてみる）。

その他

HotSyncしても、Cruiserファイルが転送されない

➡ Xiino Cruiserを以下のように設定して、データ量の小さいCruiserファイルを作成してください。

1 巡回するサイトの数を減らす。

2 巡回する深さを減らす。

➡ 不要なアプリケーションやチャンネル、キャッシュを削除して、CLIEの空きメモリ容量を確保してみてください。

➡ ユーザー名が日本語だとファイルは転送されません。

メールができない（CLIE Mail）*

* CLIE Mailが付属しない機種は除く

メールを送受信できない

送信できない

➡ 送信先のメールアドレスが正しいか、もう1度確認して下さい。

➡ CLIEアプリケーションマニュアルの「インターネットに接続する」の手順に従って、メールサーバーの設定を確認してください。

➡ しばらくたってからもう1度送信してください。

➡ 一部のプロバイダでは、送信の前に受信の操作が必要な場合があります。
受信の操作を行ってから、3分以内に送信してください（受信してからどれくらいまでの間に送信する必要があるかは、プロバイダによって異なります）。

受信できない

➡ CLIEアプリケーションマニュアルの「インターネットに接続する」の手順に従って、メールサーバーの設定を確認してください。

➡ しばらくたってからもう1度受信してください。

「アカウントが違います」「パスワードが違います」と表示される

➡ CLIEアプリケーションマニュアルの「インターネットに接続する」の手順に従って、ユーザー名やパスワードの設定を確認してください。

CLIE MailとOutlook Expressなどパソコンの電子メールソフトウェアのデータが同期しない

➡ 1つのパソコン内に「Microsoft Outlook Express」と「Microsoft Outlook」がインストールされていると、「Outlook Express」の電子メールデータがCLIE Mailと同期しないことがあります。以下の手順に従ってパソコンのMAPIの設定をし直してみてください。

1 ［スタート］メニューから［設定］→［コントロールパネル］の順にクリックする（Windows XPの場合は［スタート］→［コントロールパネル］）。

2 ［インターネットオプション］アイコンをダブルクリックする。
「インターネットのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

3 「インターネットのプロパティ」ダイアログボックスから［プログラム］タブをクリックする。

4「電子メール」プルダウンメニューから［Hotmail］をクリックし、［OK］ボタンをクリックする。

5 パソコンを再起動する。

6 もう1度［コントロールパネル］から［インターネットオプション］アイコンをダブルクリックする。

7［プログラム］タブの「電子メール」プルダウンメニューから、CLIE Mailと同期したい電子メールソフトウェアを選んで、［OK］ボタンををクリックする。

その他

Mailer Daemon**という差出人からメールが届いた**

➡ メールが送信相手に届いていません。相手のメールアドレスを確認してください。

メールアドレスが正しいにも関わらずMailer Daemonからメールが届く場合は、相手のメールサーバーに障害が発生しているか、相手がメールアドレスを変更してしまった可能性があります。

パソコンの電子メールソフトウェアとメールを同期できない

➡ メールの転送設定が正しく設定されていない。CLIEアプリケーションマニュアル「CLIE Mail」の「パソコンの同期設定を変更する」、「持ち歩くメールをCLIE側で詳細に指定する」の手順に従って、設定を確認してください。

また、HotSync後にCLIEの［ログ］をタップして表示されるログを確認すると、原因が明らかになる場合もあります。

アプリケーションの自動起動ができない（Memory Stick Autorun）

“ メモリースティック ”を入れても自動起動設定したアプリケーションが起動しない。

➡ Memory Stick GateやMemory Stick Autorunを起動している。

これらのアプリケーションを起動しているときは、自動起動の機能は働きません。Memory Stick GateやMemory Stick Autorunを起動していないときは、Memory Stick Autorunの［オプション］メニューから［ログを見る］をタップして、原因を調べてください。

➡ メモリの空き容量が極端に少ない。

メモリの空き容量が極端に少ない（約6kバイト以下）ときは、システムダウン防止のため履歴情報（ログ）表示もされません。ホーム画面でをタップし、［アプリケーション］－［情報］をタップして、空きメモリを確認してください。

➡ 自動起動設定ファイルが正しくない。

自動設定ファイルが、バージョンの異なるMemory Stick Autorunなどで作成されたか、なんらかの原因で変更されています。もう一度、Memory Stick Autorunで設定し直してください。

➡ インストールするべきアプリケーションやデータが“ メモリースティック ”内にない。

必要なアプリケーションとデータを“ メモリースティック ”にコピーし直してください。

➡ CLIEのメモリが足りない。

Memory Stick Autorunで自動起動するには、インストールするアプリケーションのサイズの約2.5倍の空き容量が必要です。

➡ “ メモリースティック ”が壊れている。

“ メモリースティック ”が、なんらかの原因で壊れていて、利用できなくなっています。他の“ メモリースティック ”をお使いください。

➡ ゲームや画像ビューアなど、表示画像を自動的に切り替える一部のアプリケーションを起動している。

ホーム画面に切り替えてから、“ メモリースティック ”を入れ直してください。キー操作やタップ、ジョグダイヤルの操作を頻繁に行っているときは、操作を止めてから“ メモリースティック ”を入れ直してください。

➡ アプリケーションを「インストールDB選択」モードで設定している。

アプリケーションを「インストールDB選択」モードで設定していると、インストールはされますが、自動起動は働きません。アプリケーションの自動起動を設定するときは、必ず［自動起動アプリ選択］を選択してください。

“ メモリースティック ”を取り出しても、 アプリケーションやデータが削除されない。

➡ ゲームや画像ビューアなど、表示画像を自動的に切り替える一部のアプリケーションを起動しているときや、キー操作やタップを頻繁に行っているときは、“ メモリースティック ”の挿入や取り出しをシステムが検知できないことがあります。

この場合には、“ メモリースティック ”を取り出しても、データの削除は行われません。［オプション］メニューから［ツール］をタップし、［MS挿入前に戻す］でデータの削除を行ってください。

自動起動時の音を消したい。

➡ “ メモリースティック ”の挿入や取り出し時の音量は、ホーム画面から［環境設定］を起動し、［一般］－［システム音］の設定で変更できます。無音にしたいときは、この設定を［オフ］してください。

“ メモリースティック ”を取り出したとき、アプリケーションのみが削除され、データが削除されない。

➡ アプリケーションを起動した後にデータが変更された場合には、“ メモリースティック ”を取り出してもデータの削除は行われない場合があります。このため、アプリケーションが利用して変更したデータがCLIE内に残ることがあります。

このような場合は、一度「ホーム」画面に移動してから自動起動に利用した“ メモリースティック ”を取り出してください。

次のページにつづく

はじめて自動起動を設定したときや、設定を削除して再び設定し直したときに、“ メモリースティック ”を取り出したときの音が鳴らない。その後の挿入や取り出しでは音が鳴る。

➡ Memory Stick Autorunは、データのインストールと自動起動が成功した場合にのみ、“ メモリースティック ”を取り出したときにデータを削除して、音を鳴らします。このため、以下の場合にはデータの削除処理は行われず、音も鳴りません。

- はじめて自動起動を設定した直後
- “ メモリースティック ”を入れたときにMemory Stick AutorunやMemory Stick Gateが起動されていて、自動起動が行われなかった場合

自動起動を設定した“ メモリースティック ”をMemory Stick Gateでフォーマットすると、ホーム画面に戻ってしまう。

➡ Memory Stick Autorunは、“ メモリースティック ”を入れたときにインストールしたデータを、“ メモリースティック ”の取り出し時に削除します。このため、以下の手順を行った場合にのみ、この現象が発生します。

1 “ メモリースティック ”を入れてアプリケーションを自動起動する。

2 “ メモリースティック ”を取り出さずに、Memory Stick Gateを起動する。

3 “ メモリースティック ”をフォーマットする。

この時点で、“ メモリースティック ”が取り出されたことになり、フォーマットの終了後にホーム画面に 戻って、自動起動でインストールされたデータが削除されます。

［オプション］メニューの［ツール］をタップして「ツール」画面を開いたときに、ボタンが表示されていない。

➡［ツール］画面には、［MS挿入前に戻す］と［自動起動設定を削除］が操作可能なときにのみ表示され、その操作ができないときには表示されません。

- 「MS挿入前に戻す」：自動起動が成功した後、“ メモリースティック ”を取り出さずにMemory Stick Autorun を起動した場合に表示されます。
- 「自動起動設定を削除」：“ メモリースティック ”内に自動起動設定が保存されている場合に表示されます。

「本体の空きメモリが足りません」というメッセージが表示される。

➡ Memory Stick Autorunを起動するには、50kバイト以上の空き容量が必要です。また、Memory Stick Autorunでアプリケーションを自動起動するには、インストールするアプリケーションのサイズの約2.5倍の空き容量が必要となります。充分な空き容量を確保してください。

HotSyncがどうしてもできないときは

「主なトラブルとその解決方法」の説明を読んでも原因がわからない場合は、次の手順でご確認ください。

「不明なデバイス」がパソコンのデバイスマネージャーに存在していないか確認してください

1 **パソコンの［マイコンピュータ］を右クリックして、表示されたメニューから［プロパティ］を選ぶ。**
「システムのプロパティ」画面が表示されます。

2 **Windows 2000 Professional/Windows XPをお使いの場合のみ、［ハードウェア］タブをクリックする。**

3 **［デバイスマネージャ］タブをクリックする。**

4 **や マークのついているデバイスが存在していないか確認する。**
このマークのついているデバイスは、正常に動作していません。削除するか該当するデバイスのドライバの発行元へお問い合わせ、最新のドライバに更新してください。

CLIE Palm Desktopのインストール前は、HotSyncできません

CLIE用のドライバをインストールする前にHotSyncを実行した場合、他のドライバがインストールされることがあります。
必ずCLIE Palm Desktopのインストールが終了してから、HotSyncするようにしてください。インストール前にHotSyncすると、パソコンのシステムに不具合を生じることがあります。

USBハブは使用しないでください

クレードルをUSBハブ経由でパソコンに接続していると、正常にHotSyncできない場合があります。パソコンのUSBポートに、直接クレードルを接続してください。
また、パソコンによっては、パソコンの内部回路的にUSBハブを経由するように設計されているものもあります。 お使いのパソコンのUSBポートがUSBハブを経由していないかどうか、お使いのパソコンのメーカーにご確認ください。

次のページにつづく

HotSyncがどうしてもできないときは

パソコンのUSBポートが有効になっているか確認してください

古い型番のパソコン（特にWindows 95プリインストールモデルなどの古い機種）やマザーボードをお使いの場合、USBポートがついていても、初期状態ではUSB機器が利用できないような設定になっている場合があります。
USBマウスなどの他のUSB機器も利用できない場合は、パソコンのセットアップ（BIOSなど）の設定をご確認ください。
また、[マイコンピュータ] を右クリックして [プロパティ] を選び、[デバイスマネージャ] タブ（Windows 2000 Professional/Windows XPの場合のみ [ハードウェア] タブ→ [デバイスマネージャ] タブ）をクリックして表示される「デバイスマネージャ」画面に、[USB コントローラ] が表示されることをご確認ください。

CLIEのユーザー名やパソコンのログオンユーザー名に全角文字を使っていないか確認してください

CLIEのユーザー名やパソコンのログオンユーザー名に全角文字を利用している場合、アプリケーション（特に海外製のもの）によっては、正常に動作しない場合があります。

CLIEで扱えるファイル形式

Palm OSはパソコンと異なる独自のファイル管理システムを持っています。そのため、CLIEで扱えるファイルは、パソコン上で見たときに以下の拡張子がついたものに限られます。

- .prc
- .pdb
- .pqa

上記以外の、パソコンでは一般的なドキュメントファイル（.doc）などの拡張子のファイルは、そのままではCLIEで扱うことはできません。ただし、パソコン上の特定のソフトウェアでCLIE用に変換することで、違和感なくCLIEでも扱うことができます。

Memory Stick Gateアプリケーションが操作できる“ メモリースティック ”内のフォルダ

Memory Stick Gateでは、以下の“ メモリースティック ”内のフォルダの内容を読み書きすることができます。

- ￥Palm￥Launcher フォルダ
- ￥Palm￥Programs￥ 以下のフォルダ

他のフォルダについては、内容を見ることはできますが、ファイルを移動したりすることはできません。

修理をご依頼になるときは

本書の「主なトラブルとその解決方法」やインターネット上の「カスタマーサポート」をご覧になっても問題が解決しない場合は、ネットコミュニケーションカスタマーリンクに修理をご依頼ください。修理に際して、当社では下記のように対応させていただきます。

保証期間内の修理

保証期間内に正常な使用状態で故障した場合には、ソニーの無料修理規定に基づいて無料修理をさせていただきます。

保証期間外の修理

保証期間外の修理は有償となります。保証期間はカスタマーご登録頂きますとご購入日から1年間となります。

保証期間内であっても有償となる修理

離島または離島に準ずる遠隔地へ修理品をお引取りまたは配送を行う場合に要する実費。
「保証期間内であっても有償となる修理」の詳細は保証書裏面の無料修理規定をご覧ください。

お問い合わせいただく前に、記入済みのクリエカルテ*、筆記用具、保証書、本体（電源が入る場合は電源を入れた状態）をご用意いただくと、受付をスムーズに行うことができます。

その他、詳しくは下記URLをご覧ください。
http://www.nccl.sony.co.jp/repair/index.html

* **クリエカルテ**

クリエカルテは、お客さまのCLIEの不具合の状況をアンケート形式でご記入いただき、故障原因の特定、修理の迅速化を図るものです。（クリエカルテは取扱説明書等と共にCLIEに同梱されている「CLIEサービス・サポートのご案内」の中にあります。）

CLIE用語集

ここではCLIEに関連する用語をまとめています。CLIEを使っていてわからないことばがあったときに参照してください。

五十音順

あ

アーカイブ

1つのソフトウェアに関係する複数のファイルを1つのファイルにまとめたものです。まとめておくことにより、ソフトウェアを転送したりインストールするときに完全な状態で受け渡しができます。単なるファイルの集合やフォルダの中にまとめたものを指すこともあります。

インターフェースコネクタ

CLIE本体下部にあるコネクタです。クレードルとの接続だけでなく、モバイルコミュニケーションアダプターなどの周辺機器と接続することでCLIEの機能を拡張できます。

インポート

データを他の機器からCLIE本体に取り込むことです。

エクスポート

データをCLIE本体から他の機器へ送り出すことです。

か

解像度

画面上で表示できる情報量のことです。同じ画面サイズであれば、解像度が高いほどより高精細な描写ができます。

カテゴリ

Palm OSでは、アプリケーションやデータをいくつかの種類に分けて管理できます。この分類を「カテゴリ」といいます。あらかじめ用意されたものに加え、自分でカテゴリを作ることもできます。

次のページにつづく

クレードル

CLIEを乗せる台のことです。充電したりパソコンとつないでクレードルHotSync（下欄参照）するために使います。

クレードル（ローカル）HotSync（ホットシンク）

クレードル経由でCLIEとパソコンをHotSyncすることで、最も一般的なHotSyncの方法です。

高解像度表示

Palm OSの従来の画面表示と比べて、より鮮明な画質で表示する技術です。

コンジット（conduit）

パソコン上で動作するプログラムの1つで、CLIEなどPalm OS機器本体のアプリケーションやデータをパソコン上のものと同期させます。コンジットは主にHotSync時に動作して、データの同期をとる処理を行います。

さ

システム音

アイコンや項目などをタップ（37ページ）したときに出る音声です。「環境設定」の「一般」で音量を調整できます。

ショートカット

あるまとまった一連の操作を、少ない操作で行えるように登録したコマンド（動作指令）です。Graffiti（39ページ）を使って入力します。標準で用意されているものの他に、自分で登録することもできます。

ジョグアシスト機能

ジョグダイヤルに対応していないアプリケーションを、ジョグダイヤルで操作できるようにする機能です。「環境設定」の「ジョグ」で「ジョグアシスト機能を使用する」にチェックをつけることで、以下の機能がジョグダイヤルで操作できるようになります。

- 画面のスクロール
- ポップアップリストの操作
- バックボタンによる、前画面やホーム画面への移動

スクリーンキーボード

画面上に表示されるキーボードで、スタイラスで選択して文字や記号を入力できます。Graffiti（39ページ）がわからなくても文字を入力できます。

スクロール（スクロールバー）

情報が画面上に一度に表示しきれない場合は、画面を上下に移動して見ます。これをスクロールといいます。画面の右端にスクロールバーが表示されますので、ジョグダイヤルまたはスクロールボタンを上下して表示する画面の範囲を移動させます。

スタイラス

文字を入力したり、画面上のアイコンやボタンをタップ（37ページ）するときに使うペン状の道具です。

スヌーズ

一定の間隔をおいて再度アラーム音を鳴らす機能です。

赤外線HotSync

赤外線通信ポートを装備しているパソコンとCLIEとの間で赤外線を使ってHotSyncすることです。クレードルを使わずにHotSyncできます。

ソフトリセット

CLIEが反応しなくなった場合にシステムを再起動する操作です。背面のリセットボタンを押して実行します。予定表などのデータやインストールしたアプリケーションは保持されます。

た

ダイヤルアップ接続

電話機を使ってインターネットに接続する方法です。

ダイヤルインサーバー

電話をかけることで接続するサーバーのことです。

タップ

スタイラス（37ページ）でCLIE画面上のボタンなどを押す操作のことです。CLIEの最も一般的な操作です。

次のページにつづく

データ形式（csv、tab、tsv、txt、vcs、vcf、dba、aba、tda、mpa）

CLIE Palm Desktopソフトウェアでインポート（35ページ）できるデータには上記の種類があります。

デジタイザ

スタイラス（37ページ）でタップ（37ページ）したときに正確に実行されるように、タップ位置の認識を微調整する設定です。

同期

CLIEはパソコンとデータを共有することで、機能を大幅に拡張することができます。この、CLIEとパソコンで最新のデータを共有することを同期といいます。本機では、HotSyncを行うことでデータの同期をとることができます。

ドラッグ

スタイラス（37ページ）で画面上をなぞって書くように操作することです。画面に表示されている文章を選んだり、スクロールバーをずらすときなどに使います。

は

ハードリセット

ソフトリセット（37ページ）してもCLIEが正常に動作しないときに行う操作です。ハードリセットをすると、すべてのデータと追加したアプリケーションは削除され、初期状態に戻ります。

ハイレゾアシスト

本機は通常のPalm OSよりも高解像度（ハイレゾ）（36ページ）で画面を表示しますが、対応していない他社製アプリケーションを高解像度で表示する機能です。「環境設定」の「ハイレゾ」で設定をします。

プライベートカスタムフィールド名

アドレス情報の4つの自由記入欄のことで、好きな項目（例えば血液型や星座など）を入れることができます。

プロバイダ（インターネットサービスプロバイダ、ISP）

インターネットへの接続サービスを行う企業・団体のことです。インターネットへ個人で接続する場合は、プロバイダとの契約が必要です。

ま

モデムHotSync

離れた場所から自分のパソコンに電話回線を通じてHotSyncを行う操作のことです。外出先からHotSyncをすることができます。

ら

ローカルHotSync

→ クレードルHotSync

ログ表示

動作の履歴を表示することを一般的に「ログ表示する」といいます。CLIEでは、HotSyncに失敗したときなどに、データが同期できなかった内容などが表示されます。

アルファベット順

G

Graffiti（グラフィティ）

Palm OS で手書き入力をするために使う、特別な文字のことです。すばやく確実に認識させるため、一筆書きで入力できるようになっています。

H

HotSync**マネージャ**

CLIEがパソコンとHotSyncをするときに、パソコン側でHotSyncの動作を管理するソフトウェアです。パソコンのUSBポートやモデムを常に監視して、CLIEからHotSyncの要求を受け取ったときにHotSyncを実行します。

LAN（ラン） HotSync (LANSync（ランシンク）)

LAN（Local（ローカル） Area（エリア） Network（ネットワーク））につながっている他のパソコンにCLIEを接続して、自分のパソコンにHotSyncする機能です。社内の他の部署にいるときにHotSyncしたいときなどに便利です。

P

Palm Desktop

パソコン上でCLIEのアプリケーションの機能を使うことができるソフトウェアです。HotSync機能を組み合わせることにより、CLIEのデータと同期（38ページ）させることができます。

.pdb

CLIEで扱えるファイル形式の1つで、主にデータベースのファイルを表します。

.prc

CLIEで扱えるファイル形式の1つで、主にプログラムのファイルを表します。

最新サポート情報は

下記のネットコミュニケーション カスタマーリンクのホームページをご覧ください。

● **http://www.nccl.sony.co.jp/**

付属の冊子もあわせてご覧ください。

「クリエ サービスサポートのご案内」
「困ったときは Q&A／CLIE用語集」（この冊子）

CLIEのさらに楽しい使いかたは

下記のホームページをご覧ください。

● **http://www.sony.co.jp/CLIE/**

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

使いかたのご相談、技術的なお問い合わせは

ネットコミュニケーション カスタマーリンクへ
● **0466-30-3080**

カスタマー登録、一般的なお問い合わせは

ソニーカスタマー専用デスクへ
● **03-5977-7255**

お電話の前に、必ず付属の「クリエ サービスサポートのご案内」をご覧ください。

http://www.sony.co.jp/